

ゆれやすさマップ

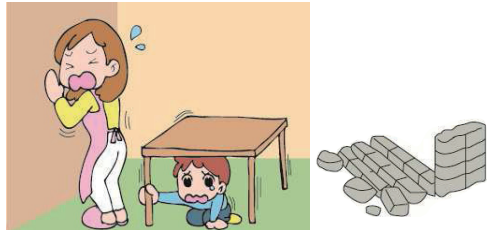
ゆれやすさマップについて

ゆれやすさマップ（想定震度分布図）は、国立研究開発法人防災科学技術研究所の研究成果を基に作成された地震動予測地図データを用いて作成し、メッシュごとに震度を表示したものです。

一般的な地震による揺れの強さは、「地震の規模」、「震源からの距離」、「表層地盤」の3つの条件により異なり、特に表層地盤の状況（硬い、あるいは軟らかい）によっては、同じ地域でも揺れが異なることが予測されます。このマップで示した震度は、地震の規模や震源からの距離より予測した平均的な揺れの大きさであり、地震の発生の仕方によっては、揺れが強くなったり、弱くなったりすることがあります。

震度と揺れなどの状況

震度 5 強



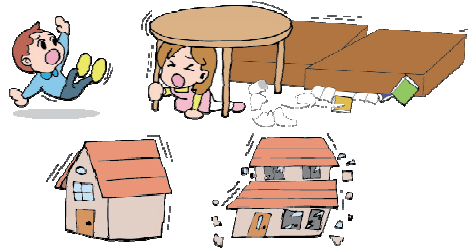
- 物につかまらなさと歩くことがむずかしい。
- 補強していないブロック塀が崩れることがある。

震度 6 弱



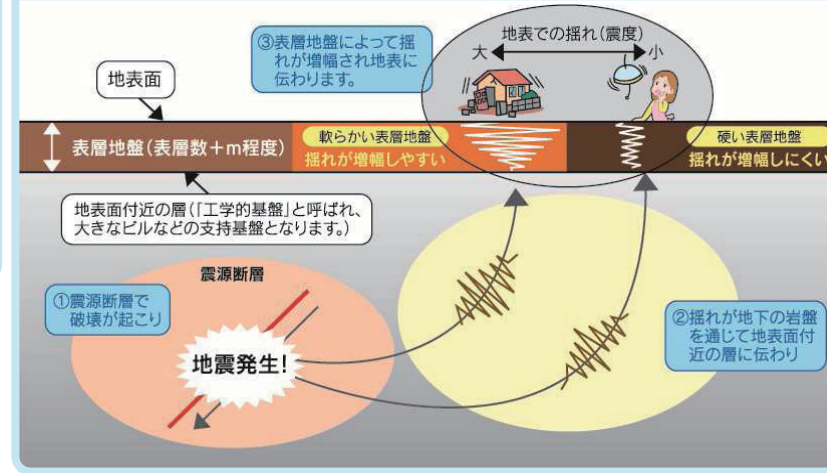
- 立っているのもむずかしく、物につかまって歩くようになる。
- 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
- 耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。

震度 6 強



- 立っていることがむずかしく、はわないと動くことができない。
- 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。
- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える。

地震の揺れの伝わり方



※ゆれやすさマップは、各震源断層の情報を用いて検討した結果を、250メートルメッシュ毎に計測震度として表現しています。掲載している計測震度は、水俣市で想定される地震「日奈久断層帯（八代海区間）」、「出水断層帯」を震源域とする2つの地震の最大震度を採用しています。全域が同時に、この震度になることを表現しているものではありません。

水俣市に大きな影響を与える可能性が高い地震

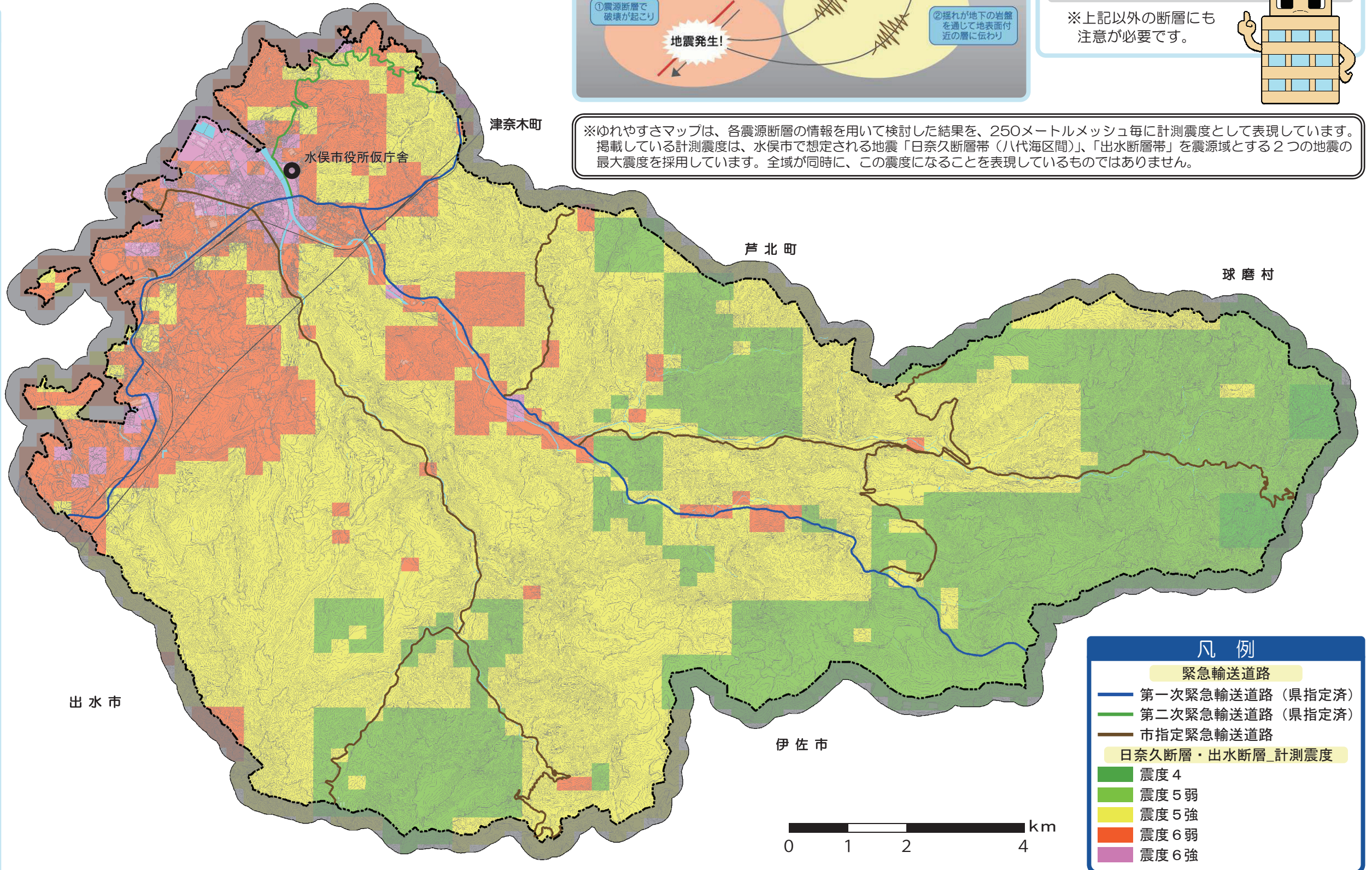
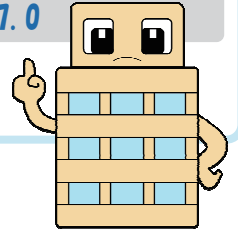
●日奈久断層帯（八代海区間）

推定マグニチュード：7.3

●出水断層帯

推定マグニチュード：7.0

※上記以外の断層にも注意が必要です。



凡例	
緊急輸送道路	
	第一次緊急輸送道路（県指定済）
	第二次緊急輸送道路（県指定済）
	市指定緊急輸送道路
日奈久断層・出水断層_計測震度	
	震度 4
	震度 5 弱
	震度 5 強
	震度 6 弱
	震度 6 強



※ゆれやすさマップは、国立研究開発法人防災科学技術研究所の研究成果を基に作成された地震動予測地図データを用いて作成しています。
 ※ゆれやすさマップは、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を背景図として利用しています。承認番号：平29情使、第568号